

第11回 聖籠中学校の部活動の在り方検討委員会 会議記録

1 期日：令和7年2月7日（金） 13：30～15：30

2 会場：聖籠町民会館2・3会議室

3 委員：欠席 宮澤委員

4 次第

(1) 開会のあいさつ（社会教育課長）

(2) 報告・協議（司会：委員長）

① 今年度予算執行額（見積） 資料1

② 次年度の予算
・国へ提出予定のもの 資料2

③ 中学校の次年度部活動対応について 資料3

④ その他
・新潟県中学校体育連盟の動き 資料4

・聖籠中学校令和7年度年間計画（案）資料5

(3) 閉会のあいさつ（社会教育課補佐）

5 説明事項

(1) 開会のあいさつ（社会教育課長）

(2) 報告

① 今年度予算執行額（見積）について

説明 事務局

（説明以外の委員の意見）

特になし

② 次年度の予算

・国へ提出予定のもの

説明 事務局

（説明以外の委員の意見）

委員 来年度は、全部活動移行になるので285人になるということでよいか。

事務局 その通りです。

③ 中学校の次年度部活動対応について

説明 事務局

（説明以外の委員の意見）

委員 新潟県のHPに地域指導者のことが掲載されている。しかし、聖籠町は掲載されていないがなぜか。

事務局 この件に関して、町への問い合わせについては県から社会教育課には来ていないので、このことについては回答できない。

ただ言えることとしては、地元の人が少ないということや種目に偏りがあるということが言えると思う。また、平日の活動要望時間を見ると開始時間が遅く、時間の調整がうまくつかないなどの要因などもあるようだ。

委員 地域指導者がいないときは、保護者の方が地域を回ってお願いしている例がある。実際私もお願いされて、当時自分の学校の部活動見に行っている。そのようなことを考えると、指導者がいないとなくなることを地域の方の伝えたい方がいいのではないか。

事務局 これまで聖籠中学校の校長には先生方をお願いするのではなく、地域の方のお願いをして長く指導を続けていただきたいことを伝えている。現在の校長先生にも伝わっているものと考えたいが、伝わっていないならば再度お願いしていきたい。

委員 これはどこが主体でやっていることなのか。

事務局 新潟県保健体育課がスポーツ分野と文科系分野をまとめて、町の担当に送信されてくる。町に送信されてくる資料を見ると、聖籠町で指導してもよいという方はいる。ただ、平日だけで土日はしないという方もいるなど、現実と継続性を考えると難しい面が見える。

④ その他

- ・新潟県中学校体育連盟の動き

説明 事務局

(説明以外の委員の意見)

特になし

- ・聖籠中学校令和7年度年間計画(案)

説明 事務局

(説明以外の委員の意見)

委員 学校に送られてきている資料には、中学校体育連盟の次年度の予定について陸上競技や柔道などが変わっていると思うがいかがか。

事務局 確認します。

委員 示された聖籠中学校令和7年度の暦に吹奏楽コンクールが入っていないが、まだ県から案内が来ていない。しかし、期日がほぼ決まっている感じである。

事務局 市町村の事務局へは吹奏楽の情報は一切来ないので、これからは地域移行の時代になるので市町村の担当部署にも一報を入れるよう言っていたきたい。

事務局 前回の会議でスポネットせいろうがスポーツ関係を掌握しているというこ

とで、今のところどのようになっているか説明をお願いしたい。

委員 聖籠町には協会、連盟といったバスケットボール、サッカー、バレーボールの団体がある。その他にソフトテニス、卓球、剣道は一般の定期利用団体として活動している。その中で、バスケットボールの指導をしたいという方が2人いた。このほかバレーボールの指導者も事務局に情報を取りに行っていた。今後についてはどうなるのかまだはっきりとはしていない。

委員 フィジカルトレーニングについては、他のクラブと重複しない形で行ってもいいのか。

事務局 行ってよい。募集はいずれも年度当初から行う予定でいる。ただフィジカルトレーニングについては、中学生の本活動が終わってからの8月とか9月から行う生徒増えるのではないかという印象を持っている。令和6年度の動きを見ていると、そんな印象を受ける。

委員 いいことだと思う。ただトレーニングをするだけではなく、理論も含めて行うことは中学校で学ぶ保健体育の学習にもつながるので。

委員 将来的にお金の負担がかかることを伝えなければならないと考える。現在のことで言えば、複数種目に所属すればどうなるのかなども含めて説明が必要だと考える。

事務局 令和7年度の作業になってくると考える。しかし今年度のうちにおよその月謝などは考えている。施設や用具を聖籠中学校からお借りすることを大前提にしている。令和6年9月、10月時点での計画では各月1,000円で10か月徴収する計画でした。しかしそれでは足りないのではないかということもあり、1,500円くらいが妥当と考えております。

委員 今後地域クラブ化が活動してくると、土日は行かず平日だけ地域クラブに行く生徒も出てくるのではないか。また、今年度のソフトテニスのように土日はクラブで練習するが平日は自分の学校に帰って練習をさせてもらえというクラブもある。

事務局 所属しているクラブで考えることになると思うが、しばらくは土日祝日はクラブ、平日は学校ということになる。また、ソフトテニスの問題については、中学校校長会などで申し入れすることだと考える。

委員 今後の問題になるが、市町村を超えて活動することも考えていく必要があるのではないか。今は聖籠中学校だけでチームを作っているが、小学生を見ていると新発田市から通ってきている生徒もある。今後は広域にしていくことも考えなければならないのではないか。

委員 中学校体育連盟のことで考えると、競技によって地域の縛りがかかっている競技がある。複数市町村でチーム編成を認められる競技と認められない競技がある。

(3) 閉会のあいさつ（社会教育課課長補佐）